

第25号

発行日:2012年6月11日
 発行:鹿児島純心女子短期大学
 同窓会ゆかり会
 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1
 TEL・FAX (099)255-7655
 E-mail jyukarikai@yahoo.co.jp
 U R L http://www.geocities.jp/jyukarikai
 編集:ゆかり会事務局

会報 ゆかり

開催

鹿児島純心女子短期大学同窓会
 ゆかり会創立50周年記念
 ホームカミングデー



同窓会ゆかり会は
 創立50周年を
 迎えました

名誉会長
 平山 久美子(学長)



「祈ること」を大切に

かと、今から期待しております。またその日には、多くの卒業生が久しぶりに母校に戻ってきてくださり、友達や先生方との再会を喜び、立派になった学校を見て、喜んでくださるのではないかと考えております。そして明日卒業なさる皆さんは、一番若い同窓生となるわけですので、どうぞ、この一大「ホームカミングデー」となるこの記念行事に、学校に戻ってきていただき、行事を盛り上げていただけたら、大変嬉しく思います。

ところで、皆さんは、明日卒業して社会人になった時、学生の時とは全く違う立場になったことに気づかれるでしょう。20歳になったとはいえ、これまでは、本学の学生という身分が、皆さんを守ってきました。しかし、今後は、この社会の中で、一人の責任ある人間として、自分でよく考え、判断し、行動していかなければなりません。時には、自分はどうか判断し、行動したらよいのか、途方にくれる局面に立つことがあるかと思えます。そのような時、一つの解決法として、「祈ること」を皆さんにお勧めしたいと思います。祈りとは、本来「神様と心を割ってお話すること」です。自分はあまり祈ったこともないと思われるかもしれませんが、少なくとも在学中のアセンブリーの学長講話の時、お聖堂で少しですが祈りの時を持ちました。祈りは何か難しいことをするのではなく、ただ素直に静かに、自分を神様の前に置き、神様のお望みに耳を傾けて聞くことです。神様はいつも、私たち

を助けようとしておられます。ですから、私たちとしては、心静かに、信頼を持って神様に聴き従う心を持っていればよいのです。聖書の詩篇の作者も次のように歌っています。「あなたの重荷を主にゆだねよ。主は、あなたを支えてくださる。」(詩篇55・23)と。

本学の創立者である江角先生も、たびたび純心の生徒・学生たちに祈るように勧められました。「お祈りを沢山して頂戴ね。それは神様とお話が出来る、たった一つの方法よ。」と。そしてどう判断していか分からなくなった時、「もしマリア様だったらどうなさるだろうか」と自らに問いかけ、行動するように勧められました。「もしマリア様だったら」、このフレーズを皆さんの判断基準にいただけたら嬉しく思います。

卒業していかれる皆さんの前途には、嬉しいことや楽しいことばかりでなく、辛いことも多々あると思います。そのような時、あなたは一人ぼっちではなく、いつでも愛にみちた神様の眼差しの中にいることを忘れないようにしていただけたら幸いです。そして心を開いて神様とお話をして、元気づけられますように。皆さんの上にいつもイエス様の祝福とマリア様のご保護がありますように祈っています。

(平成23年度 ゆかり会入会式あいさつより)

緑の山並みに淡いピンクの山桜が咲き始め、本格的な春の訪れを告げています。このような美しい季節に、明日、卒業式を迎えようとしている皆さん、本日は、ゆかり会へのご入会おめでとうございます。

「ゆかり会」とは、本学の同窓会の名称です。その名称の由来は、本学で学んだゆかり、ご縁に結ばれて、卒業後もお互いに助け合い、励ましあって生きましようとの願いが込められているのだと思います。

そして毎年、このように卒業式に先立って、「ゆかり会」の役員の方々が、卒業なさる皆さんのために立派な同窓会入会式を開催していただきます。誠にありがたく、感謝申し上げます。

今年度は、「ゆかり会」創設50周年にあたります。この記念すべき年にあたり、「ゆかり会」では、昨年準備委員会を立ち上げ、今年の11月11日に記念行事を行おうと、準備を進めておられます。その記念行事はきっとすべての卒業生に喜んでいただける、楽しく有意義な企画になるのではない